

～スーパーマリン・スピットファイア(Spitfire) Mk.I



【ドイツ空軍の Bf-109E と↑】

【マーリンスピット最終型 Mk.IX 型と↓】



スーパーマリン・スピットファイア Mk.I は、バトルオブブリテンで、ドイツ空軍を撃退した英国空軍の主力戦闘機です。スーパーマリン社は、その名の通り、小型・中型の飛行艇も製作していましたが、同社の名を挙げたのは、1935

年に開催された、飛行機の最高速度を競うシュナイダー杯で優勝した S6B 水上機です。現在も、過酷なレースで得られる知見を量産車に活かすために大手自動車メーカーが F-1 やル・マン耐久レースに参入していますが、スーパーマリン社がシュナイダー杯で得た知見は量産機であるスピットファイアに活かされます。マーリンエンジン搭載型に限っても、スピットファイアは Mk.IX 型(Mk.XVI はパカードマーリン搭載型)まで改良されて生産され続けますが、これも胴体及び主翼の基礎設計がしっかりしていたからだと思います。S6B の設計者でもあったレジナルド・ミッチェルは量産型 Mk.I の完成を見ずに病没しますが、彼は英国に大きな財産を残しました。Mk.I の特徴的塗装は、下面半分の黒色塗装ですが、子供の頃、レベル 1/32 の箱絵に描かれた、この左右非対称塗装をかつこ悪く思った記憶がありますが、その後、キカイダーやザクをカッコイイと思うのですから、不思議なものですw。

【模型について】

タミヤ(TAMIYA)製の 1/72 のキットです。ベーシックなとても良いキットで、ヨドバシカメラのような量販店で手軽に安価で入手できるという点で同社には感謝しかありません。上の写真はバトルオブブリテン 40 周年記念プレート(コー



ールポート社製)ですが、ミッチェルの出身地、Stock-on-Trent 市にはウェッジウッド社があり、窯業が盛んな街でした。(中川裕幸 2021 年 10 月、2024 年 12 月改定)